

1 学校教育目標

学ぶよろこび ・ きたえるよろこび ・ ふれ合うよろこび をもつ子ども

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの自立を促し、手助けをする学校 ・子どもが安心して過ごすことのできる安全な学校 ・すべての子どもに基礎的・基本的な学習事項を定着させる学校
○児童・生徒像	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な学力・体力を身に付け、工夫しながら楽しむ子ども ・目標をもち、最後までやり遂げる子ども ・互いの違いや人権を尊重し、協働して、社会に貢献する子ども
○教師像	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと共に過ごし、子ども理解に努める教師 ・子ども一人一人の自己実現を支援する教師 ・保護者・地域に信頼される教師

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

[学校の現状]

- ・足立スタンダードに基づいた授業を展開し、キュビナを活用した個別最適な学びと ICT を利活用した協働的な学びの充実を図る。
- ・学校行事、校外学習などの体験を通して、児童の自己肯定感を高める指導の充実を図る。
- ・ゆとりある生活時程の中で、学習時間の確保と授業の質の向上に務め、主体的に行動する児童の育成を図る。

[前年度の成果と課題]

- 児童に寄り添った指導を心がけ、不登校児童や登校渋りの発生率が減少。
- 分かる授業を実践して確かな学力を身に付けると共に、児童が「学ぶ楽しさ」を実感できる授業を展開する。
- カリキュラムマネジメントを進め、ゆとりある学びと先を見通した働き方の両立。
- ICT を利活用した、個別最適な学びの充実。

4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R:令和				
		R3	R4	R5	R6	R7
1	学力向上アクションプラン	◎	◎	◎	○	○
2	豊かな人間性の育成（豊かな心）	◎	◎	◎	○	○
3	基礎体力の向上と健康な体づくり（健やかな体）	○	○	○	○	○
4						

5 令和5年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
基礎的な内容の定着、課題解決を分かりやすく考えさせる授業の工夫・改善を行う。		年度末定着度調査（2月）の2科目平均通過率75%、平均正答率75%		通過率：国69.9%、算69.0% 正答率：国72.3%、算70.0%		2科目平均通過率は69.4%で未達成 2科目平均正答率は71.1%で未達成 AIドリル（キュビナ）を活用していく		△	
B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクションプラン	対象学年 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 新規	授業研究	全学年 国語算数	通年	全教員 ・足立スタンダードの徹底 ・教員がタブレットやAIドリルの活用の仕方を共有する	実施回数	・年4回 ・学期に1回、達成状況を評価	・12月時点3回実施 ・教員「PTでAIドリル活用」100%、児童「週1回以上」86%	・授業研究会の学びを日々の授業改善につなげる ・PT、家庭学習での活用指導の充実	◎
2 新規	話す力の育成	全学年 全教科	通年	・他者との関わりから考えを深める授業づくり ・他者に伝える機会の充実	児童や教員へのアンケート	・学期に1回、達成状況を評価	・児童「分かりやすく話す」71% ・教員「伝える」88%	・出し合う、比べ合う授業の充実 ・話し合い方の指導	○
3 改善	放課後補充指導	国語算数	通年	ペア学級の教員と担任 ・キュビナで課題解消のための個別指導	児童や教員へのアンケート	・学期に1回、達成状況を評価	・児童「AIドリル月300問以上」62% ・教員「AIドリルの週1回以上」91%	・AIドリル月300問以上を継続 ・個別指導へ活用の充実	○
4 改善	書く力の育成	各教科 その他	通年	全教員 ・各教科や特別活動等において学年に応じた文字数で書く活動の日常化	児童や教員へのアンケート	・肯定的な回答が80%以上	・児童「分かりやすく書く」78% ・教員「書く力」80%	・書くことに慣れる取組の充実 ・書く機会の徹底	○
5 新規	教員の授業力向上	各教科 その他	通年	全教員 ・教科指導専門員と一緒に校長の授業観察 ・小中連携の目指す児童・生徒像を目指した授業づくり	・授業観察の実施回数 ・教員へのアンケート	・年間一人3回以上 ・学期に1回達成状況を評価	・全員1回以上実施、若手は3回以上実施 ・教員「授業改善に活かす」89%	・今後も計画的に実施する ・板書、教室掲示の充実、協働的で深い学びの充実	◎

重点的な取組事項－２		豊かな人間性の育成（豊かな心）			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
体験の中から、人やこと、ものとの関わり方を学び、豊かな人間性を育成する。		目標実現に向けた取組の実施結果が、3項目以上が達成基準以上	3項目が基準以上を達成	今年度の取組を継続する	○
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
心の教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> いじめ・差別に関する教員研修と防止授業を4回以上 児童会主体のいじめ・差別撲滅キャンペーンを年2回実施 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳授業地区公開講座で、いじめ防止授業を公開 健全育成の年間計画に沿った取組の実施 	<ul style="list-style-type: none"> いじめ・差別に関する教員研修と防止授業を4回以上実施 児童会主体で、6月にいじめ防止集会、11月に人権集会を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳授業公開、意見交換会を実施 児童会主体の健全育成廊下掲示を実施 	◎
学級活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 学級活動(1)の話合い活動を15回以上実施 全員が学級会の運営に1回以上関わる 	<ul style="list-style-type: none"> 意見を出し合い、よりよい合意形成を目指す学級活動(1)の実施 全員が司会や記録等を経験する 	12月現在で <ul style="list-style-type: none"> 教員アンケート「学級会で司会グループの経験を積ませる」90%、 児童アンケート「学級会で司会をした」71% 	<ul style="list-style-type: none"> 年間計画に沿って実施できた 年間計画に沿って児童が学級会の運営に関わることができた 	◎
自己肯定感を高める支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> 学期や学校行事等のめあてや振り返り指導を年4回以上 学校評価（児童）「自分のことを大切に思う」の肯定的回答が90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 夢デザインシートの活用 学級活動の時間に、係活動のめあてづくりや振り返り指導を実施する 	12月現在で <ul style="list-style-type: none"> 教員アンケート「夢デザインシートの活用」100% 児童アンケート「自分のことを大切に思う」84% 保護者アンケート「お子さんは、自分のことを大切に思っている」94% 	<ul style="list-style-type: none"> 夢デザインシートを参考に、学年で工夫していく 学校行事や学級活動において、自己実現の場になるよう児童主体の取組を広げる 	○
不登校やその傾向がある児童への支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> 不登校児童の出現率、前年比より削減 	<ul style="list-style-type: none"> 校内委員会で、情報共有、関係諸機関との連携など、素早く組織的に対応する QU検査の結果を学級経営に活かす 	<ul style="list-style-type: none"> 不登校児童の出現率は、前年より減少 当該児童の願いに応じた対応を実施 QU検査の結果を学級経営に活用、また、個人面談で保護者に説明 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も校内委員会で情報共有、SSWとも連携し組織的な対応に努める QU検査の活用について、校内研修で研鑽を積む 	△

重点的な取組事項－3		基礎体力の向上と健康な体づくり（健やかな体）			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
進んで体を動かす児童の育成と基礎体力の向上		目標実現に向けた取組の実施結果が、2項目以上が達成基準以上	・3項目とも基準以上を達成	今年度の取組を継続する	○
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
基礎体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・課題種目の平均値が、年度初めよりも再調査の結果が向上 ・体育実技研修を、年3回以上行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・6月の調査から課題種目を決め、体育の時間に課題克服のための指導を行う ・効果検証として、再調査を12月までに実施 ・体育実技研修を実施し、指導のポイントを全教員が共有する 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年で課題種目（1年握力、2・6年シャトルラン、3・5年ソフトボール投げ、4立ち幅跳び）を決め、体育学習で課題克服の指導を行い、12学級中11学級が改善 ・スポーツテスト、陸上記録会計時、バドミントンなど体育実技研修会を実施できた 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して、各学年の課題に応じた運動に取り組む ・なわとび、走り方、投げ方、器械運動、救命救急などの実技研修を実施する 	○
オリ・パラ教育「学校2020レガシー」	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価項目（児童）「体を動かすことは楽しい」の肯定的回答が80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・中休みに全児童が取り組むオリンピックタイム体操、リズムダンス、なわとび、持久走など 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケート「体を動かすことは楽しい」92%、 ・年間を通じて、体操・リズムダンス・なわとび・持久走を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季は熱中症予防対策をできた ・20分休みは、全校児童が校庭に出る取組を継続する 	◎
食育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価項目（児童）「ひと口目は野菜から食べる」の肯定的回答が85%以上 ・学校評価項目（保護者）「ひと口目は野菜から意識して食べる」の肯定的回答が55%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・全学級で「ひと口目は野菜から食べましょう」の号令を実施 ・栄養士と担任が連携した学級指導の実施 ・学校だより、給食だよりでベジファーストの必要性を発信する 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケート「ひと口目は野菜から食べる」学校で91%、家で67% ・保護者アンケート「お子さんは、ひと口目は野菜から意識して」60% ・教員アンケート「ベジファースト、残菜率を減らす工夫」100% ・給食だよりや学校だよりでも、食に関わる記事を発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ひと口目は野菜から」の取組は、児童には浸透してきた。家庭での食事や保護者への働きかけを継続する ・給食だよりや学校だよりでも、食に関わる記事を今後も発信する 	○

6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

ア 学力向上アクションプランについて

【課題】

- ・全学年が国語・算数において平均正答率が75%を下回り、学習の定着状況に課題がある。国語は漢字、算数はかけ算、わり算の習熟に課題がある。また、指示を聞いて直ぐ作業に取りかかれない児童がいる。

【対策】

- ・視覚情報も取り入れ、分かりやすい指示の出し方を工夫していく。
- ・単元テストを自分で採点、すぐに復習し、再テストの希望者が増えた。自分を客観的に見つめるメタ認知の力を養う取組を継続する。
- ・子供たちに、「何のために（目的）」「だれに（相手）」を意識させながら、話し合い活動に取り組みさせる。
- ・2年生以上はPTでキュビナ（AIドリル）を活用し個に応じた復習ができた。来年度は、キュビナの取り組み状況を保護者が確認できるように工夫していく。

イ 児童アンケートの結果について

【課題】

- ・肯定的な回答をしている児童は「授業は分かる」は92%、「勉強は好き」（国算図音）は72%であった。各学級落ち着いて学習に取り組んでいる。「話を聞くときは、その人の考えや気持ちを受け止めようとする」は87%、「自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝える」は78%なので、「他者とのかわりから、自分の考えを広げたり深めたりできる児童」の育成に努める。

【対策】

- ・分かりやすい授業を継続し、互いのわかり方を話し合う時間を確保する。
- ・興味のあることを調べたり発表したりする単元を設定し、情報活用能力を育む。
- ・考えや意見を出し合い、比べ合いながら、自分の考えを広げたり深めたりして、言語能力の向上に努める。

(2) 保護者や地域へのメッセージ

○開かれた学校づくり協議会会長をはじめ委員、地域ボランティアの皆様、登校の見守りやあいさつ運動をしてくださりありがとうございました。

○放課後子ども教室、放課後学習教室で子供たちの見守りをしてくださりありがとうございました。

○保護者の皆様には、オンラインアンケートに回答くださりありがとうございました。90%の方から回答をいただきました。ご意見を参考に、次年度計画を立てて参ります。

(3) その他（学校教育活動全般について）

○児童アンケート「よいあいさつをする」は91%が肯定的な回答。保護者アンケート「人と会ったら自分からあいさつしている」は76%が肯定的な回答。子供たちは、毎朝、ボランティアの方と気持ちのよいあいさつをしています。

○今年度は全学年でバスを使った校外学習を実施し、体験を通して社会性を育む学習ができました。「為すことによって学ぶ」を軸に、来年度も体験を通して確かな知識や知恵を身に付けていけるように、学校行事を充実して参ります。